

2008年公民科倫理 前期期末考査(3年1,2,3,4,5組&理系) 正解と解説

大問	問題番号	正解	正答率	配点	大問	問題番号	正解	正答率	配点
<b>1</b> 63.6%	1	2	<b>60</b>	2	<b>4</b> 58.9%	26	3	<b>26</b>	2
	2	2	<b>59</b>	2		27	1	<b>48</b>	2
	3	3	<b>75</b>	2		28	1	<b>48</b>	2
	4	3	<b>64</b>	2		29	4	<b>57</b>	2
	5	3	<b>44</b>	2		30	3	<b>81</b>	2
	6	2	<b>75</b>	2		31	2	<b>48</b>	2
	7	3	<b>68</b>	2		32	2	<b>79</b>	2
<b>2</b> 62.1%	8	4	<b>74</b>	2	<b>5</b> 48.5%	33	1	<b>36</b>	2
	9	1	<b>68</b>	2		34	1	<b>43</b>	2
	10	3	<b>73</b>	2		35	3	<b>36</b>	2
	11	4	<b>73</b>	2	<b>6</b> 53.7%	36	4	<b>32</b>	2
	12	4	<b>49</b>	2		37	4	<b>80</b>	2
	13	2	<b>34</b>	2		38	3	<b>81</b>	2
	14	1	<b>64</b>	2		39	3	<b>49</b>	2
15	1	<b>47</b>	2	40		3	<b>52</b>	2	
16	4	<b>78</b>	2	41		2	<b>61</b>	2	
17	1	<b>77</b>	2	42		4	<b>29</b>	2	
<b>3</b> 60.0%	18	3	<b>19</b>	2		43	3	<b>46</b>	2
	19	4	<b>48</b>	2		44	2	<b>54</b>	2
	20	1	<b>67</b>	2		45	3	<b>69</b>	2
	21	2	<b>49</b>	2	46	1	<b>62</b>	2	
	22	1	<b>87</b>	2	47	1	<b>39</b>	2	
	23	4	<b>68</b>	2	48	4	<b>60</b>	2	
4	24	2	<b>85</b>	2	<b>7</b> 60.0%	49	4	<b>58</b>	2
	25	2	<b>78</b>	2		50	2	<b>72</b>	2

2008年前期期末 倫理 得点分布

平均	点数	頻度	累積
59.1点	95~100	1	1
	90~94	7	8
最高点	85~89	4	12
96点	80~84	10	22
	75~79	12	34
標準偏差	70~74	13	47
15.08	65~69	18	65
	60~64	33	98
	55~59	22	120
	50~54	27	147
	45~49	13	160
	40~44	27	187
	35~39	7	194
	30~34	5	199
	0~29	4	203

2008年前期中間 倫理 得点分布

平均	点数	頻度	累積
54.4点	95~100	1	1
	90~94	0	1
最高点	85~89	1	2
98点	80~84	5	7
	75~79	8	15
標準偏差	70~74	12	27
12.65	65~69	13	40
	60~64	31	71
	55~59	18	89
	50~54	37	126
	45~49	28	154
	40~44	27	181
	35~39	8	189
	30~34	11	200
	0~29	2	202

## 2008 年片岡担当倫理 前期期末考査 解 説

### 第 1 問

[1] 正解 2 60%

ヘレニズム時代の思想については、ストア派とエピクロス派を対比させながら押さえておきます。アパテイアとアタラクシアは間違えてはいけない問題です。これらはいずれも精神の安定した状態を指すのですが、思想の文脈の違いはしっかりと理解しておきましょう。アパテイアは、ア(否定)+パトス(情念)ですから、情念にかき乱されない禁欲的で理性的な不動心のことです。アタラクシアはア(否定)+タラクシア(わずらわしさ)ですので、わずらわしさから解放された魂の平静のことです。平静な魂こそが快樂主義の求めるものなのです。キュニコス・ピオスとは、「犬の生活」という意味で、キュニコス派、キュニク派、犬儒派などとよばれた学派の理想とした生活です。(資料集 p.47 解説参照)彼らはソクラテスの流れを汲む学派なのですが、社会的規範を軽んじて、自然のままに無欲に生きることを理想としました。ニルヴァーナは仏教用語の「涅槃」のことですが、心の安定という意味では通じる部分もありますね。

[2] 正解 2 59%

だいたい[1]ができた人は[2]もできたのではないのでしょうか。部分的な文脈からするとのニルヴァーナ(誤答率17%)が入りそうな気もするかもしれませんが、エピクロスは仏教徒ではありません。やはり、のアパテイア(誤答率18%)と勘違いした人も少なからずいました。の「サマーディ」という用語は聞いたことがないと思いますが、「三昧(ざんまい)」という言葉には聞き覚えがあるでしょうか。「受験生は勉強三昧」とか「サマーディ」の漢訳が「三昧」で、意味としては禅定に集中している様子をあらわします。

[3] 正解 3 75%

これも易しい問題です。ストア派の標語「自然に従え」を理解していれば解ける問題です。ゼノンの言葉としては、「幸福とは自然本性にしたがうことである」というのが本来の表現です。宇宙の秩序としてのロゴスを神としてとらえ、理性こそ人間の自然本性であると考えます。それに反するパトス(情念,衝動,欲望)は禁じられるべきであるというところに禁欲主義の所以があるわけです。

[4] 正解 3 64%

人間最大の痛みあるいは恐怖の対象は「死」ではないのでしょうか。デモクリトスの原子論を継承するエピクロスは、人間は死ぬことによって魂も感覚も失い、ただの原子に戻るのだと考えます。たしかにそう考えれば死んでしまえば何も感じないわけですから、苦しくも恐ろしくもない。

しかし、自分が存在しなくなってしまうということについての恐怖や不安は生きている以上なくなりませんので、エピクロスが言っていることは、方便のようにも聞こえます。

[5] 正解 3 44%

しっかりと授業プリントを読み込んでいけば難しくない問題です。ちなみに2008年のセンター試験ではストア派の哲学者、『怒りについて』の著者として、セネカを選ばせる問題が出題されましたが、当然授業プリントを読み込んでいた先輩たちは高い正答率でした。エピクテトスは奴隷出身の哲学者。『ピュタゴラスの旅』という酒見賢一氏の小説の中に「エピクテトス」という短編があります。お薦めの作品です。マルクス・アウレリウス(アントニヌス)は『自省録』の著者、ローマ帝国の哲人皇帝、五賢帝の最後の一人として有名です。のオリゲネスはアレクサンドリアのギリシア教父ですので、キリスト教思想家です。中世の修道院を舞台にしたミステリーに「修道士カドフェルシリーズ」たあるのですが、16巻の『異端の徒弟』にオリゲネスの思想が出てきます。このシリーズは映像化されてかつてNHKでも放映されていたのですが、これもお薦めですぞ。

[6] 正解 2 75%

新プラトン主義の創始者を問う問題。西洋哲学に及ぼした影響としては、プラトン主義以上にプロティノス以来の新プラトン主義の方が大きいとする考え方もあります。ルネサンス期のピコ・デラ・ミランダにも新プラトン主義の影響が大きいのですが、じつは当時はプラトン主義と新プラトン主義は区別されずに同じものにとらえられていたようです。ということは、新プラトン主義こそプラトンの思想と考えられていたということになります。のクレメンスは2~3世紀アレクサンドリアの教父ですから、プロティノスより少し前のキリスト教思想家ということになります。プロティノスの主著『エンネアデス』は、15世紀ルネサンス期にフィレンツェのマルシリオ・フィチーノによってプラトンの前著作とともにラテン語訳されました。彼はフィレンツェにプラトンアカデミーを復興し、それがヨーロッパの近代思想に大きな影響を与えるのです。シノペのディオゲネスはキュニコス派の樽に住んでいた哲学者として知られています。プロクロスも新プラトン主義哲学者として知られていますが、5世紀にアテネの自家アカデメイアの学頭をつとめていた人物でもあります。

[7] 正解 3 68%

新プラトン主義の特徴は、一者から知性が、知性から魂が、そして魂から物理的な世界が流出したという考えです。もちろん、善のアイデアの比喩からの「太陽の放射」という表現もあながち外れているわけではありませんが、ここでは、「流出」という用語を重視して「水のような流出」を正解としました。ちなみに、新プラトン主義協会では「流出」よりも「発出」という訳を使っているようです。

## 第2問

[8] 正解 4 74%

「約束の地カナン」というフレーズを聞いたことがあれば間違ふことはなかったはず。この問題が74%の正答率とはちょっとがっかりです。たしかにシリアという名称は地中海とアラビア半島の砂漠の間の広い地域を指しますので、カナンも含まれます。しかし、もちろん神がシリアのすべてをイスラエル民族の約束の地としたわけではありませんので、これは不正解です。アラビアについてもアラビア半島全体を指しますので不正解。のシドンは地中海側の商業都市の名前です。

[9] 正解 1 68%

神がモーセを通してイスラエルの民に与えたもの？という問題ですが、日本語で「律法」と書けばもっと正答率が上がったかもしれません。トーラー(律法)とは旧約聖書の最初の5巻を指します。タルムードは4,5世紀頃に編纂された口伝律法研究をまとめたものです。アークは十戒の石版2枚が納められた契約の箱。「失われた聖櫃」(The Lost Ark)としてインディージョーンズの映画にも登場します。シャリーヤはイスラム法のことで、イスラエルの基本法ではありません。

[10] 正解 3 73%

この問題でもっと正答率が高くて良さそうな易しい問題です。ラビとはユダヤ教の聖職者のこと。ヤハウエ(誤答21%)とは神の名ですから、「油を注がれた者」ではありません。メシアはヘブライ語マーシャハ(油を注ぐ)という動詞の名詞形マーシァハ(油注がれた者)に由来する語。つまりヤハウエがある人物を聖別して王とした者という意味でした。ですから、ダヴィデは王という意味でメシアなのです。それが、神の支配を地上で代行する者という意味で救世主という意味合いに変化するとともに、それはギリシア語ではキリストと呼ばれ、のちにイエスこそメシア(キリスト)だという信仰がうまれるわけです。ちなみにサンガは仏教用語の僧伽(そうぎゃ)つまり仏教団のことです。

[11] 正解 4 73%

これらの選択肢はどれも旧約聖書中のエピソードです。授業プリントをちゃんと読んでいればわかります。は弟アベルを殺したカインの話。はノアの箱船。はアダムの話で、が正解のアブラハムの話です。イサクの父がアブラハムです。

[12] 正解 4 49%

律法の中でも特に重要な十戒ですが、最初の4つは神と人間との規定です。唯一神、偶像崇拜禁止、神の名の尊重、安息日の規定。これがわかっていれば「神の像を造って~」が間違いであることがわかります。また、後の6つの人間同士の関係に関する規定の中には、仏教の五戒とは異なり、飲酒を禁じる規定はありません。十戒の内容をここにも掲載しておきましょう。

第一戒「あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない」、第二戒「あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない」、第三戒「あなたは、あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない」、第四戒「安息日を憶えて、これを聖とせよ」、第五戒「あなたの父と母を敬え」、第六戒「あなたは殺してはならない」、第七戒「あなたは姦黒してはならない」、第八戒「あなたは盗んではならない」、第九戒「あなたは隣人について偽証してはならない」、第十戒「あなたは隣人の家をむさぼってはならない」

[13] 正解 2 34%

これは正答率が低い。「律法(トーラー)」同様「預言者(ネビーイーム)」も旧約聖書の聖典です。そのなかで三大預言者といわれるのが、イザヤ、エレミア、エゼキエルです。「イザヤ書」はキリスト教にとっても重要な巻で、イエスの生誕や受難が預言されていると考えられています。バプテスマとは洗礼のこと。バプテスマのヨハネは洗礼者ヨハネとも呼ばれますが、新約聖書の中に描かれている人物です。使徒ヨハネとは別人で、イエスに先立って道を整えイエスにヨルダン川で洗礼を受けた人物です。「らくだの皮衣を着、腰に革の帯をしめ、いなごと野蜜を食べ物」としていたと福音書に描かれています。

[14] 正解 1 64%

ユダヤ教の救世主を待ち望む信仰がイエスによって実現されたと考えるのがキリスト教です。イスラームは律法と福音書を聖典と認めていますが、ユダヤ教にとってイエスは偽メシアということになりますから、福音書を聖典扱いはしません。ヤハウエはイスラエル民族を選んで祝福します。人類を平等に愛するのではなく選ばれた民としてイスラエルの民を祝福するのです。これは逆ですね。もともと旧約聖書はヘブライ語や例外的にアラム語で書かれていましたが、アレクサンドリアでギリシア語に訳されたと言われています。それが『七十人訳聖書(セプトゥアギンタ)』で、72人の訳者が72日間で律法を訳し終えたという伝承から「七十人訳」といわれます。これがキリスト教でも採用されたギリシア語版旧約聖書です。

## 第3問

[15] 正解 1 47%

イエスがベツレヘムで生まれたのは、当時のローマ皇帝アウグストゥスの人口調査のときに、父ヨセフの生まれ故郷に帰ったからと考えられています。アウグストゥス以外の皇帝はテオドシウスはキリスト教国教化。コンスタンティヌスはキリスト教公認、ディオクレティアヌスはキリスト教の大迫害者として知られています。イエスが生まれた時点ではまだキリスト教は成立していないわけですから、これらを外せば正解がわかる。世界史の知識を問う問題でした。

[16] 正解 4 78%

イエスの生誕の地はベツレヘムといわれています。現在もベツレヘムには生誕教会があります。よきサマリア

人のたとえで知られるサマリアは古代北イスラエルの首都でした。ホレブとはホレブ山ともいわれ、シナイ山の別名です。ヘブロンはベツレヘムよりも南の都市で、マクベラの洞穴というアブラハムたち族長の墓があるとされる場所があります。

[ 17 ] 正解 1 77%

ポンティオ・ピラトともいいます。ローマ人のユダヤ総督。不本意ながらイエスの処刑を命じた人物として知られていますが、コプト教会やエジプト教会ではキリスト教に改宗したという伝承もあり、そこでは聖人とされているようです。ザカリアは洗礼者ヨハネの父とされる人物。

ヘロデ・アンティパスはその洗礼者ヨハネを獄死させた領主です。シモン・マグスは魔術師シモンともよばれ、新約聖書の使徒言行録の中で、お金で聖霊の力を受けようとする人物として描かれています。聖職売買のことをシモニアというのはここからきています。

[ 18 ] 正解 3 19%

授業中に資料集の p.55 イエスの生涯を読みながら説明した部分です。これは予想以上に正解が少なかった。「ユダヤ人の敵」を選んだ人が 70%もいました。ヨハネによる福音にはこう書かれています。「ピラトは罪状書きを書いて、十字架の上に掛けた。それには、『ナザレのイエス、ユダヤ人の王』と書いてあった。イエスが十字架につけられた場所は都に近かったので、多くのユダヤ人がその罪状書きを読んだ。それは、ヘブライ語、ラテン語、ギリシア語で書かれていた。」この罪状をラテン語で書くと、IESVS NAZARENVS REX IVDAEORVM となり（古いラテン語は U と V, I と J を区別しません）略して「INRI」この 4 文字がイエスの十字架の上に掲げられています。王 = メシア = 救世主ということで、王を名乗るローマ皇帝への反逆者であり、メシアの僭称者として処刑されたということですね。

[ 19 ] 正解 4 48%

は熱心党、ゼロテ党（ゼーロータイ）と呼ばれる人々のことです。熱心なユダヤ教徒としてローマ帝国への納税を拒否していました。イエスの 12 人の弟子の中にも元熱心党のシモンという人物がいます。はサドカイ派あるいはサドカイ人と呼ばれる人々。はユダヤ教のエッセネ派のことを指します。死海写本と呼ばれる古文書が 20 世紀にクムランの洞窟の中から発見されたのですが、それらはエッセネ派に属する文書と見られています。

[ 20 ] 正解 1 67%

の最後の晩餐がじつは過越の食事だったという話は授業の中でもしたと思うのですが、過越祭は現在もユダヤ教徒の間で行われている祭りです。過越は英語では、passover と書かれますが、イスラエルの民の家だけ災いが過ぎ越し、神によって奴隷から解放されたことを祝う祭りです。

[ 21 ] 正解 2 49%

の「ラクダが針の穴を～」を選んだ人が多かったので

すが、このエピソードは資料集 p.56 にも赤いアンダーラインが付されて紹介されているとおり、福音書にある言葉です。「律法の行いによって義とされるのではなく」信仰によって義とされるというのがパウロをはじめとするキリスト教の立場ですから、がこの場合は適当でないということになります。

[ 22 ] 正解 1 87%

これは正答率が予想以上に高い問題になりました。夏目漱石の『三四郎』にも引用される「迷える羊（ストレイシープ）」のたとえば、資料集 p.57 にあるとおり、迷わない羊（正しい人）がそこにたどるよりも、迷える羊（罪人）が牧人（神）のもとに帰ってくるの方が喜ばしいのだということであらわしています。たしかに簡単だったかな？

[ 23 ] 正解 4 68%

「求めよ、さらば与えられん」という聖書の言葉を聞いたことはありませんか？ パンを求めている子どもに石を与える親がないように、神は人が本当に求めている救いを与えてくれるのだということです。に出てくる「律法」と「預言者」が旧約聖書をあらわしているのはわかると思います。それを「廃するためではなく、成就するために来た」のがイエスですから、これが適当でないものになります。

#### 第 4 問

[ 24 ] 正解 2 85%

イエスの一番弟子で初代教会の長といえばペテロ（ペトロ）ですね。ガリラヤ湖の漁師だったシモンは教会を支える岩（ケファ = ペトロス）と呼ばれました。使徒トマスはイエスの復活を聞いても信じなかったが、実物を見て「我が主、我が神」と言ったといわれています。使徒ヨハネは福音記者ヨハネともいわれ、その兄弟ヤコブ、ペテロとともにイエスに近づくことの許された特別な弟子として福音書に描かれています。使徒ヤコブはのヨハネの兄弟と考えられています。9 世紀初頭に遺骨が発見されたといわれ、スペインのサンチアゴ・デ・コンポステラはその巡礼者でにぎわいました。ちなみにサンチアゴとはスペイン語で聖ヤコブのことです。

[ 25 ] 正解 2 78%

キリスト教において原罪とはどのように考えられているかを問う問題。はカルマ、インド的な業の考え。は罪は神の本性には由来しないので誤り。は神道的なツミの概念に近いですね。のアダムとエバ以来遺伝的に継承される人間の悪への傾向が正解です。

[ 26 ] 正解 3 26%

パウロが異邦人への伝道者と言われるのは、ユダヤ教徒以外の信徒を多く獲得したからです。はじめのうちは、ユダヤ教徒以外の人々がキリスト教徒になるためには、割礼を受けるなどのユダヤ教徒としての律法を受け入れる必要があると考えられていたのですが、パウロはユダヤ教へ

の改宗をせずにキリスト教徒となることができると主張し、それが論争の中で受け入れられるようになります。確かに律法には割礼を受けることが規定されていますが、真の割礼は「心の割礼」という表現が新約聖書のパウロの手紙の中にあります。パウロにおいてキリスト教はユダヤ教徒完全に決別したと言うこともできるでしょう。

[27] 正解 1 48%

昔の訳だと、「初めに言(ことば)ありき」で始まるヨハネによる福音書は、他の3つ(マタイ,マルコ,ルカ)の福音書(これらを共観福音書といいます)とちょっと雰囲気違います。そもそも「ことばは神であった」という表現はピンとこないかもしれませんが、言葉はギリシア語でロゴス。ロゴスはイエス・キリストをあらわしています。ここでは、キリストは父なる神によって作られた被造物ではないことをあらわしています。ということで、他の選択肢3つは、新約聖書中のパウロの手紙の中の言葉です。

[28] 正解 1 48%

哲学というと、つい スコラ哲学(誤答率 45%)を選んでしまう人も多いようですが、アウグスティヌスは西ローマ帝国末期の教父哲学者です。スコラ哲学は中世西ヨーロッパのキリスト教哲学ですから間違えのないように。

[29] 正解 4 57%

この選択肢の中に「マニ教」が入っていたならさらに悩ましい問題となったと思われます。実際アウグスティヌスはマニ教徒だったこともあるからです。また、マニ教にはグノーシス主義の影響があるのは確かではあります。しかし、「永遠なるものの存在を知る」という表現から「一者」としての神を「新プラトン学派」から学んだと考えるべきでしょう。マニ教もグノーシスも善悪二つの神を前提にしますので、ここでは新プラトン主義の影響が最も適当であるといえます。のリュケイオンは皆さん覚えていますか? アリストテレスの学校ですよ。

[30] 正解 3 81%

さすがにこれは正答率が高い。ギリシア哲学、プラトンの四元徳とは、知恵と勇気と節制と正義でした。は三位一体。は七つの秘跡のうちの3つです。正解は 信仰と希望と愛。

[31] 正解 2 48%

オッカムの思想を問うという難問を一つ作ってみました。ポイントは普遍論争においてオッカムは唯名論の立場に立ったことを知っているか。唯名論の主張を読み取ることができるか。この二つです。はトマス・アキナスの主張ですし、は教父テルトゥリアヌスの「不合理なるがゆえにわれ信ず」をあらわします。が普遍は人間の知性によって作られたものではないといっていますので、実念論。が普遍とは個別者の記号であるといっていますから唯名論をあらわしています。ということで、が唯名論者オッカムの思想ということになります。

## 第5問

[32] 正解 2 79%

超易問のサービス問題。簡単すぎて深読みした人もいるのかもしれませんが、『ヴェーダ』が『ペーダ』と書かれていて勘違いした人もいるのか...!?!。間違えた人の名前をここにさらそうかとも思いましたが、やめておきます。ゾロアスター教の聖典は『アヴェスター』です。バラモン教とヒンドゥー教の違いがわからない人はもう一度授業プリントを読みなさい。ここで解説はしません。

[33] 正解 1 36%

これまた困ったことです。外道を選んだ人が 49%いましたが、外道とは仏教側から見た表現ですので、ゴータマ・ブッダは含まれません。「なかでもマハービーラとゴータマ・ブッダは...」と続きますのでここは を選んだ仏教徒はブッダを外道扱いしているということになりました。「仏の顔も三度」といいますから、あと二回仏の顔を潰さないように気をつけてください。当然正解は の沙門です。四門出遊のエピソードの中で、ゴータマが北門から出たときにであったのが沙門でした。閻魔 阿修羅はいずれももともとバラモン教の神々でした。

[34] 正解 1 43%

の輪廻転生の話はリグ・ベーダではなく、ウパニシャッドに書かれているものです。ウパニシャッド哲学の基本、一つ目が輪廻転生。二つ目が梵我一如です。これをお忘れなく。

[35] 正解 3 36%

こちらは が梵我一如の説明と思いきや、アートマンとブラフマンの説明が逆になっています。さらりと読みすごしてはいけません。と誤答した人は 43%もいました。は仏教の諸法無我の説明だし、はジャイナ教。がカルマ(業)による因果応報を説明するウパニシャッドの記述です。善因善果、悪因悪果、自業自得もウパニシャッドの思想ですよ。

## 第6問

[36] 正解 4 32%

ちょっと難しめの選択肢です。断食では悟れないというのが仏教の基本。六波羅蜜(誤答率 36%)は大乗仏教における菩薩の完成させるべきもの六つのことですから×。は瞑想だったら でしょうが、観想(誤答率 27%)ですとギリシア哲学のテオリアの意味も強いので、ここでは惜しいですが×。の禅定なら文句なしに です。心静かに瞑想をする。仏教の代表的な修行法のうちの一つです。禅宗のみが坐禅をするわけではありません。中国を経由した禅宗には老荘思想の「無」の影響も強く見られますね。

[37] 正解 4 80%

苦しみを滅した状態を涅槃(ニルヴァーナ)といいます。仏教が目指す悟りの境地です。のヴァジュラヤーナは金剛乗と漢訳される密教用語ですが、大乗仏教を超えた密教

をあらわしています。シーニヤとは漢訳すると「空」サンサーラは漢訳されて「輪廻」となります。聞き覚えのないサンスクリット語が多かったと思いますが、正答率は高くなりました。

[ 38 ] 正解 3 81%

これも仏教的真理といえばダルマ(法)ですね。マハーヤーナは大乘のこと。ストゥーパは仏塔あるいは卒塔婆。スッタはパーリ語なのですがサンスクリット語ではストラ「糸=経」をあらわします。『スッタニパータ』はパーリ語で書かれた南伝の経典です。

[ 39 ] 正解 3 49%

これは難問。八正道は大きく分けると「正しい認識」「正しい生活」「正しい精神統一」の3つになります。正見は正しく見て「正しい認識」。正語は正しく語って「正しい生活」。正精進も正しい努力ということで「正しい生活」。正定が正しい禅定という意味ですから、正しい精神統一のあり方を示します。

[ 40 ] 正解 3 52%

センター過去問のちょっと難しめの問題。四諦をしっかりと理解して覚えているかを問います。ポイントはきちんと理解しているかどうかです。苦しみの原因を示すのは集諦ですから、これは誤り。同じ理由でこれも誤りですね。が正しくて、の道は八正道のことをあらわしています。言葉の意味を理解せずに、「苦集滅道」だけ丸暗記だけしていると解けません。倫理のセンター試験が何を求めているかがわかりますね。

[ 41 ] 正解 2 61%

これは前の問題とは逆に地理歴史的知識を問います。クシナガラ(クシナーラー)は仏陀入涅槃、つまり亡くなった場所。ブツガヤーの菩提樹の木陰で成道、つまり悟りを開いたとされます。サールナート(鹿野苑)は初転法輪(初説法)の地。カピラバストゥ(カピラ城)は釈尊の出身地。生まれはルンビニー園といわれています。

[ 42 ] 正解 4 29%

仏教理解と読解力、思考力を問う難しめの問題です。は内容としては面白いのですが仏教批判で文脈にあいません。は永遠不変の命を求めるところと仏を絶対者としているところが間違い。ということで、との実質二択の問題になります。も歴史的に間違いではありませんし、も間違っていない。そんな時はリード文の文脈でどちらが適当かを判断します。全体の文を見ますと、ここでは釈迦の思想が説明されているのがわかります。釈迦が亡くなった後の仏教の展開の話ではありません。とすると、(誤答率 34%)の南伝北伝のはなしではなく、仏教の真理の特徴を述べたが正解となります。このようにどちらも正解だが文脈で選ぶ種類の問題はセンター試験でもときどき出てきます。センター対策として考え方を覚えておいてください。

[ 43 ] 正解 3 46%

授業プリントの中の、『スッタニパータ』からの引用で

す。だけがちょっと異質な文に見えるのは、理性という用語や自然を支配する法則という西洋的な概念が含まれているからでしょう。もちろんこれは「自然に従え」と唱えるストア派の記述です。

[ 44 ] 正解 2 54%

「慈悲」という仏教用語が与楽と抜苦という概念で説明されるようになったのは、2004年のこの問題以降のことだと思います。それまでは、教科書でも慈悲は「あわれみの心」「いつくしみの心」くらいの説明しかされていませんでした。を選んだ人が23%いましたが、上座部は自利、大乘は利他ととらえるのが一般的です。

## 第7問

[ 45 ] 正解 3 69%

大乘仏教が仏塔(ストゥーパ)崇拝者たちの中から生まれてきたという話は授業の中でも触れたとおりです。紀元100年ころまでは仏像はつくられず、仏足石(仏の足型を刻んだ石)や法輪(仏説のシンボル)が崇拝されていたようです。

[ 46 ] 正解 1 62%

大乘仏教が理想とする修行者が菩薩です。出家在家を問わず六波羅蜜を完成させようとする人はみな菩薩であると考えられました。声聞とは上座部仏教における出家修行者をあらわします。修行を完成させた者としての阿羅漢も含まれます。大乘仏教ではこれら声聞を利他を欠いた自利の行であるとして小乗と批判したのです。如来とは仏陀と同じ意味になります。

[ 47 ] 正解 1 39%

大乘仏教徒が自己の内に認めるのは、一方では確かに渴愛などの煩惱でしょう。しかし、それは「体現すること」を目指しては困ります。文脈をしっかりと見極めましょう。体現するなら解脱でもなく仏性です。

[ 48 ] 正解 4 60%

は法華経、は華嚴経、は維摩経でが般若経です。これも覚えておいて損はありません。

[ 49 ] 正解 4 58%

まずは、竜樹(ナーガールジュナ)と中観派が関連づけられているか、そして、大乘仏説を理解しているかを問う問題です。はアーラヤ識という用語でわかるとおり唯識派の思想、は一切衆生悉有仏性の如来蔵説、も「識」を語る唯識派でが中道と空の結びつきを語る中観派のナーガールジュナの思想です。

[ 50 ] 正解 2 72%

昨年のセンター試験の問題ですが、きちんと定期試験の勉強をしていけば難しくないということがわかると思います。解脱とは輪廻転生から抜け出すことではありませんが、それは、ゴータマ・ブツダの考え方としては苦しみの世界から抜け出すことと同義です。釈尊の思想と仏教の展開をきちんと区別して理解しておきましょう。